

「提案型公共サービス改善制度」の概要 (協働化テスト)

－ 県民満足度ナンバーワン佐賀を目指して －

佐賀県 経営支援本部 人材育成・組織風土G

目次

- (1) 新しい県庁経営のあり方
- (2) 「協働化テスト」とは
- (3) 具体的なサイクル(流れ)
- (4) これまで成果

(1) 新しい県庁経営のあり方

新しい県庁経営のあり方

～「協働化テスト」を支えるマネジメント・システム～

◎佐賀県庁「改進」プラン（H15～：県庁経営の基本方針）

県政の最終目標

「県民満足度を高めること」

基本理念

「オープン」、「現場」、「県民協働」

取組内容

「組織の再編、権限移譲、予算編成、政策評価、人事システム、業務改善、人材育成、意識改革」など

(例) 組織再編：本部制への移行

(新しい組織; H16.4~)

(従来の組織)

総務部

企画部

厚生部

環境生活局

経済部

農政部

水産林務局

土木部



統括本部

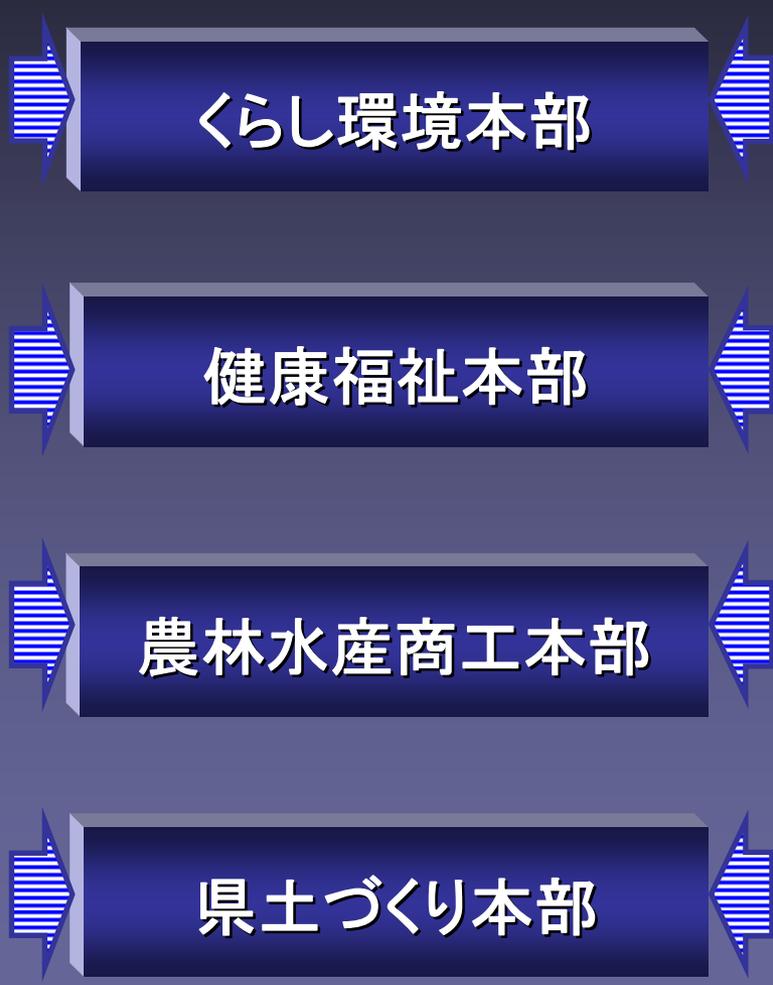
くらし環境本部

健康福祉本部

農林水産商工本部

県土づくり本部

経営支援本部



(2) 「協働化テスト」とは

協働化テストの背景

- 近年、CSO*や企業等により、様々な公共的サービス分野での活動が活発化
- 一方、少子化対策や子供の安全確保など行政サービスに対するニーズは益々多様化
- このような社会情勢の変化に的確に対応するためには、行政とCSO、企業等がそれぞれの得意とするところを持ち寄り、公共サービスの提供に関する新たな役割分担をしていくことが重要

* CSO: 市民社会組織 Civil Society Organizations

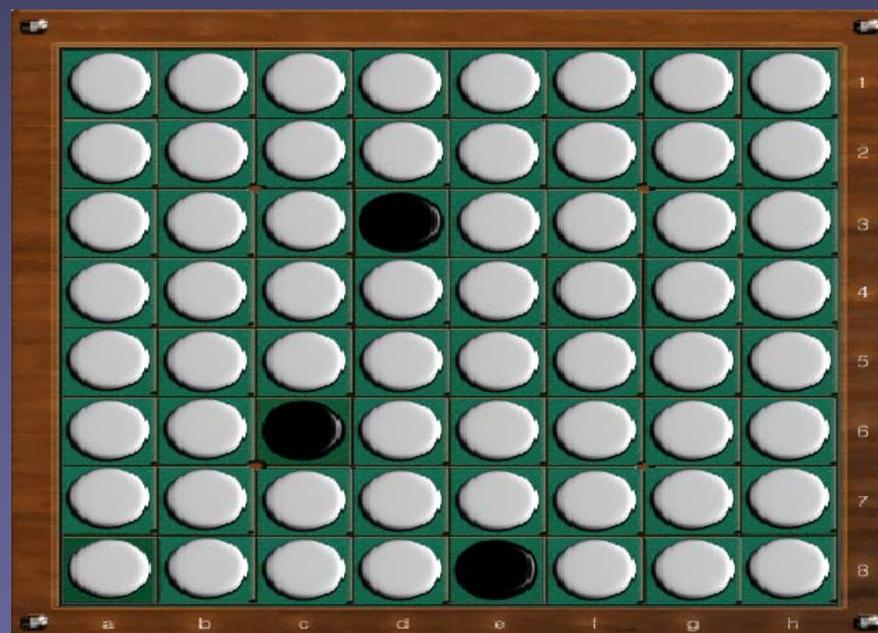
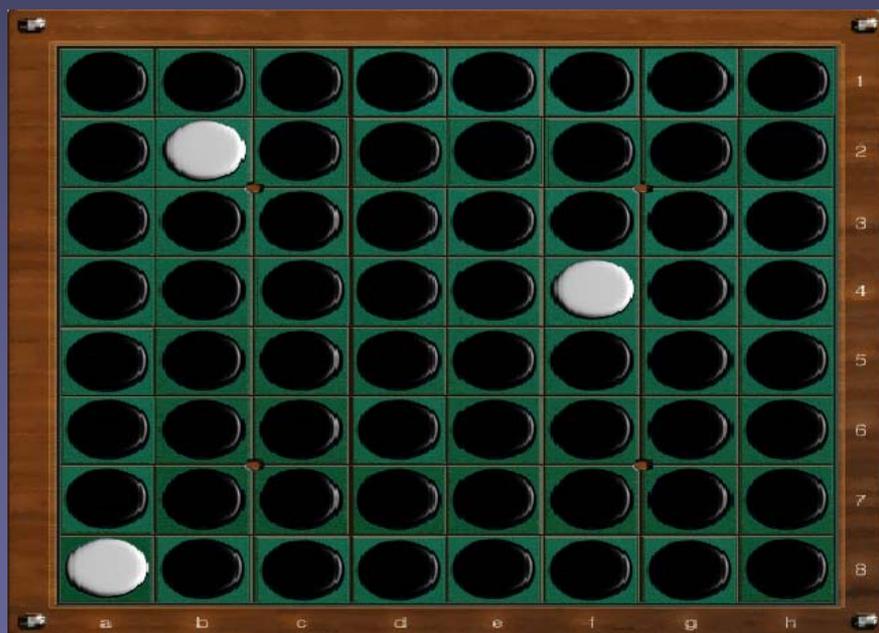
・・・志縁組織(NPOなど)に地縁組織(自治会など)を加えた概念の呼称

協働化テストとは

- 積極的な業務情報の開示によって、
- 民間(CSO、企業、大学)と広く対話を重ね、
- 県民満足度が高まるよう、公共サービスの担い手の多様化を図っていくプロセス。

協働化テスト導入前後の情報開示

(導入前)一部開示 → (導入後)原則開示



協働化テストの位置づけ

企業
(営利、私的)

市民(CSO)
(非営利、私的)

行政(公共)